



19 集落営農

那岐地区の東宇塚集落では、集落営農の取り組みを進めています。中心となって取り組んでいる前川義憲さんは、「アンケートなどで集落のすべての家庭事情を調査し、概ね合意をもらっていますが、よりよく運営するためには、維持費や運営していく上でのルールをさらに細かく丁寧に決めていかないといけません。ハードルは決して低くないが、なんとかみんなで協力して進めていきたいものです」と話します。まちではこのような集落ぐるみで農地維持を推進する取り組みを支援しています。



前川義憲さん



加藤眞由美さん
修さん

20 智頭町まるごと民泊の積極的推進

平成23年のプレオープン時から民泊の取り組みに関わっている加藤眞由美さん。「お客さんには気を使わずに過ごしていただけるように、遠くの親戚が来たような感じで接しています」と言い、「食材の味を知ってほしい」と、お料理には特に心を配っています。まちではそれぞれの家のこだわりでもてなす民泊を通じ、多くの方々に智頭町を訪れてもらえるよう取り組みを進めています。



18 商店街との連携による 空き店舗の活用検討

国登録有形文化財に指定されている塩屋出店で食堂を始めた柏原和浩さん。「毎日お店を切り盛りしていくのは大変だけど、智頭宿や河原町商店街など、まちなかの賑わいづくりに貢献できたらいいな」と話してくれました。まちでは大切な建物を今の暮らしの中で活用していき、賑わいを生み出す住民の取り組みに向けて、様々な支援をしています。



柏原和浩さん



西尾富昭さん

21 ゼロイチの更なる発展

富沢地区では、老朽化した旧富沢小学校の建物の維持が難しいため、コミュニティセンターとしての建て替えを検討しています。そしてその運営資金を地区振興協議会で賄っていくためにキクラゲの生産を始めました。キクラゲ生産部門代表の西尾富昭さんは、「地域の人たちが助け合って一緒に働ける環境づくりを進めていきたい」と意欲を語ります。まちも智頭町の新しい産業づくりの取り組みとして応援しています。



17 図書館を中心にした賑わい創出

週に一度は娘のなつめちゃんと一緒に図書館を利用している土居義浩さん。「司書の方が私たちの顔と名前を覚えてくださり、いつも丁寧に対応してくれます。子どもにも必要な時にはしっかり注意し、叱ってくださるのがとてもいいと思います」と話します。今、なごみ、つながり、まなびあうをテーマにした新図書館づくりの計画が進んでいます。

土居義浩さん
・なつめちゃん



50歳

22 地産地消の推進

シイタケ栽培を手掛け、知事表彰の受賞経歴も持つ寺坂勝博さん。「シイタケ栽培をするなら原木をあげるよ」と原木をもらったことがきっかけとなり、シイタケ栽培の研究をコツコツと続けてきました。「秋になれば、本当においしいシイタケが食べられるよ」と笑顔で話してくれました。まちでは、新たな特産品の生産及び消費拡大に向けたPR・普及活動も行っています。



寺坂勝博さん



60歳

70歳